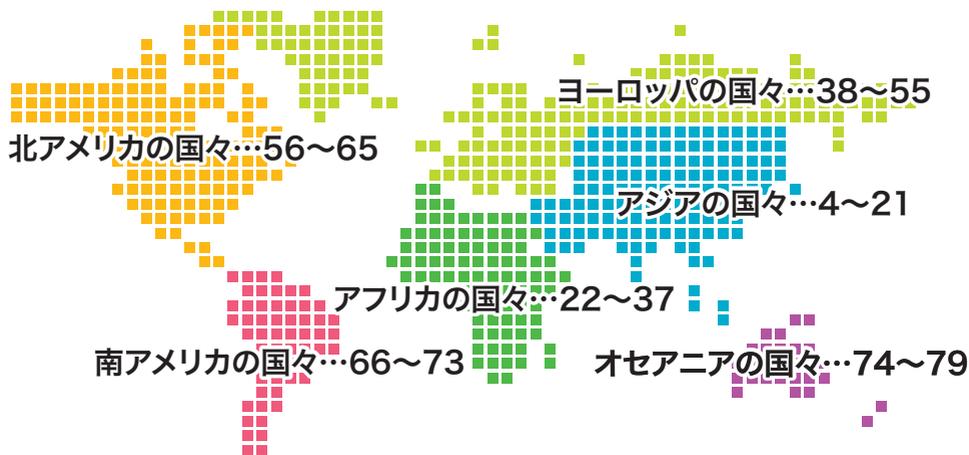


国と国旗ハンドブック 2020/21



一般財団法人地図情報センター

国と国旗ハンドブック



インフォグラフィック

あれこれ世界ランキング(人口の多い国)	2
あれこれ世界ランキング(面積が狭い国)	12
あれこれ世界ランキング(面積が広い国)	13
あれこれ世界ランキング(国際競争力)	19
あれこれ世界ランキング(CO ₂ 排出量が多い国、一人当たりCO ₂ 排出量が多い国)	20
あれこれ世界ランキング(国際観光客到着数)	37
あれこれ世界ランキング(ノーベル賞受賞者数)	65
あれこれ世界ランキング(世界のテーマパーク入場者数)	72
あれこれ世界ランキング(世界遺産数)	73
オリンピック開催都市	82～83
サッカー(男女)ワールドカップ、ラグビーワールドカップ開催国	86～87
索引	88

👑 あれこれ世界ランキング 人口が多い国()のないものは2018年)

① 中華人民共和国 14億2443万人 (ホンコン、マカオ、台湾を含む)		⑦ ナイジェリア連邦共和国 1億9339万人(2016)	
② インド 12億9804万人		⑧ バングラデシュ人民共和国 1億6460万人	
③ アメリカ合衆国 3億2716万人		⑨ ロシア連邦 1億4409万人(2015)	
④ インドネシア共和国 2億6416万人		⑩ 日本国 1億2652万人	
⑤ ブラジル連邦共和国 2億849万人		⑪ メキシコ合衆国 1億2532万人	
⑥ パキスタン・イスラム共和国 2億777万人(2017)		⑫ フィリピン共和国 1億659万人	



出典: Demographic Yearbook 2018

記載例

1. 世界の197か国2地域を掲載している。六大州は「地理統計」(帝国書院発行)に準じており、大州の掲載順はアジア、アフリカ、ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの順とした。国は原則五十音順(東西南北などの読みも含む)とした。また、ロシアはヨーロッパに含めた。
2. 国名は常用の読みに準じた。ただしイギリスは、正式名称「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」とした。
3. 2020年11月末までに入手したデータによったが、項目によってデータソースが統一されていないものもある。その場合、註記を付した。
4. 小数点以下は原則1桁とし、それ未満の桁は四捨五入した。セル内の“-”は該当(数値・データ)なし、“=”は資料なし、“?”以下のデータは不確か・不明なものである。

各国表凡例

- ・「国旗」の形、色は United Nations Dag Hammarskjöld Library : Map Libraryを参考にした。
- ・ は国旗の意味、由来など。諸説あるが、大使館、Webなどの情報を参考にした。
- ・表中、単位のない()内数字は西暦年。面積、人口、人口密度、GNI(国民総所得)で年未記載は2019年。首都人口で年未記載は2018年。
- ・「IOCコード」は、IOC(国際オリンピック委員会)が定めた国名コード(3文字)。
- ・「言語」の 赤字は公用語。
- ・「独立年」の は独立年、 は国連加盟年。「旧宗主国」は独立まで、もしくは直近まで国家経営していた国名。
- ・「政体」はふざわしいと思われる政治体制・政治制度。
- ・「主な加盟機関や経済協定」の略称: 欧州連合(EU)、北大西洋条約機構(NATO)、経済協力開発機構(OECD)、国際エネルギー機関(IEA)、独立国家共同体(CIS)、アジア太平洋経済協力会議(APEC)、東南アジア諸国連合(ASEAN)、米州機構(OAS)、南米南部共同市場(MERCOSUR)、北米自由貿易協定(NAFTA)、TPP協定(環太平洋パートナーシップに関する包括的および先進的な協定)(TPP)、アラブ連盟(LAS)、アラブ石油輸出国機構(OAPEC)、石油輸出国機構(OPEC)、太平洋諸島フォーラム(PIF)。
- ・「国花/国技等」の は国花、 は同樹木、 は同鳥、 が国技(法令で定められているもの)。国が定めたその他の動植物はその都度示す。
- ・ マークは世界遺産。 は文化遺産、 は自然遺産、 は複合遺産、 は危機遺産。()内は登録年。〔 〕内は国外にまたがっている場合(4か国以上にまたがる国名は p.46に該当国の注あり)。2018年以前の日本語名称やデータは「世界遺産年鑑」、それ以降はユネスコの英文データをWebサイト等を参考にし翻訳した。
- ・欄外の  青枠は「世界小ネタ集」。

出典

- ・外務省ホームページ(世界の国情報)
- ・総務省統計局
- ・JETRO「貿易統計」、国連人口統計など国連データベース
- ・「月刊地域情報ニュース」(地図情報センターデータベース)
- ・帝国書院作成資料
- ・日本ユネスコ協会連盟、WikipediaほかWeb情報
- ・世界地図は「Natural Earth」の各種shapeファイルを利用し、QGISアプリケーションで、ランベルト正積図法で出力した。
- ・植生・シェード画像は「Natural Earth」の1:10m Natural Earth II(Natural Earth II with Shaded Relief, Water, and Drainages)データを使用した。
- ・グラフの出典は各グラフに記した。

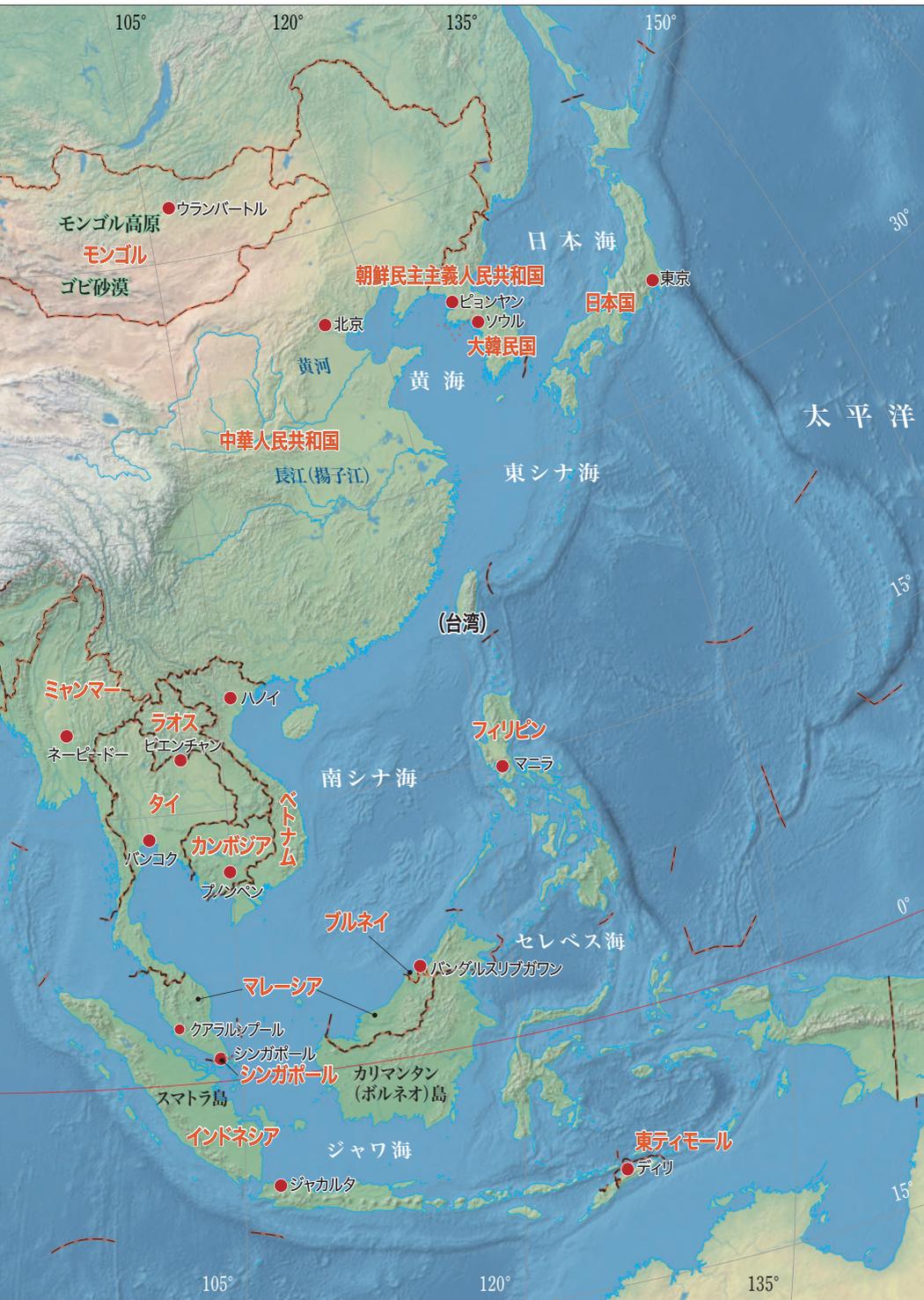
アジア



国名は通称を使用しています。
境界は正式なものではありません。

0 1000km

約1:3930万 スケールは赤道上
ランベルト正積方位図法





アゼルバイジャン共和国
Republic of Azerbaijan

面積/人口	86.6千km ² /993万人	GNI	403億ドル
首都/首都人口	バクー/226.2万人	通貨単位	アゼルバイジャン・マナト
人口密度	115人/km ²	IOCコード	AZE
言語	☞ アゼルバイジャン語 、ロシア語、アルメニア語、タリシュ語		
宗教	イスラーム87%、ロシア正教、アルメニア教会		
民族	アゼルバイジャン人90.6%、ダゲスタン系2.2%、ロシア系1.8%		
独立年	☞1991.8/☑1992.3	旧宗主国/政体	-/共和国
主加盟機関	CIS	国花/国技等	🌀オジロワシ

🚩 1991年ソビエト連邦からの独立の際にかつて用いられていた国旗に戻された。緑色と八角星と三日月はイスラーム国を表す。

🏛️📖 城壁都市バクー、シルヴァンシャー宮殿、及び乙女の塔(2000)、ゴブスタンのロック・アートと文化的景観(2007)、シェキの歴史地区とハーンの宮殿(2019)



アフガニスタン・イスラム共和国
Islamic Republic of
Afghanistan

面積/人口	652.9千km ² /3007万人	GNI	203億ドル
首都/首都人口	カブール/396.1万人 ⁽¹⁷⁾	通貨単位	アフガニー
人口密度	46人/km ²	IOCコード	AFG
言語	☞ ダリー語 、☞ パシュトゥー語 、ハザラ語、タジク語		
宗教	イスラーム99% (スンナ派80%、シーア派19%)		
民族	パシュトゥン人42%、タジク系27%、ハザラ人9%、ウズベク系9%		
独立年	☞-/☑1946.11	旧宗主国/政体	イギリス/共和国
国花/国技等	🌸赤いチューリップ		

🚩 2004年制定。中央の紋章は国章で、上部が「シャハーダ(信仰告白)」と国名。中央は「ミフラブ(メッカの方角を示すモスクに設置された壁の聖龕(窪み))」と国旗、下部はイスラム暦1298年(イギリスからの独立年)が書かれる。周りはりボンに束ねられた小麦の穂。

🏛️📖 ジャムのミナレットと考古遺跡群(2002)、パーミアン渓谷の文化的景観と古代遺跡群(2003)



アラブ首長国連邦
United Arab Emirates

面積/人口	71.0千km ² /930万人 ⁽¹⁷⁾	GNI	3950億ドル
首都/首都人口	アブダビ/126.6万人 ⁽¹⁶⁾	通貨単位	UAEディルハム
人口密度	131人/km ²	IOCコード	UAE
言語	☞ アラビア語 、ペルシア語、英語、ヒンディー語		
宗教	イスラーム62%、ヒンドゥー教21%		
民族	アラブ人48.1%、南アジア系35.7%		
独立年	☞1971.12/☑1971.12	旧宗主国/政体	イギリス/首長国
主加盟機関	LAS、OAPEC、OPEC		

🚩 1971年独立時に制定。アブダビ、ドバイ、アジマーン、ウムアルカイワイン、シャルジャー、フジャイラ、ラスアルハイマの7首長国の元々の国旗の色を全て含む汎アラブ色4色で構成。

🏛️📖 アル・アインの遺跡群(2011)



アルメニア共和国
Republic of Armenia

面積/人口	29.7千km ² /297万人	GNI	125億ドル
首都/首都人口	エレバン/107.7万人	通貨単位	ドラム
人口密度	100人/km ²	IOCコード	ARM
言語	☞ アルメニア語 、ヤズド語、ロシア語		
宗教	アルメニア教会72.9%、カトリック4%		
民族	アルメニア人97.9%、クルド人1.3%		
独立年	☞1991.9/☑1992.3	旧宗主国/政体	-/共和国
主加盟機関	CIS	国花/国技等	🌀コウノトリ

🚩 1991年旧ソ連からの独立時に、1918~22年に存在したアルメニア第一共和国時代の色に戻された(縦横比は異なる)。赤は独立のため流された血を、青は希望、国土を、オレンジは国民の勇気と団結、農産物の小麦を表すとされる。

🏛️📖 ハプタトとサナヒンの修道院(1996、2000)、ゲガルド修道院とアザート川上流域(2000)、エチミアツィンの大聖堂と教会群及びズヴァルトノツの古代遺跡(2000)



イエメン共和国
Republic of Yemen

面積/人口	528.0千km ² /2817万人 ⁽¹⁷⁾	GNI	274億ドル
首都/首都人口	サマア/197.6万人 ⁽⁹⁹⁾	通貨単位	イエメン・リアル
人口密度	53人/km ²	IOCコード	YEM
言語	🇨🇵 アラビア語		
宗教	イスラーム(国教) 100%		
民族	アラブ人92.8%、ソマリ人3.7%		
独立年	🇨🇵 1990.5 / 🇺🇳 1947.9	旧宗主国/政体	トルコ、イギリス/共和国
主加盟機関	LAS	国花/国技等	🇨🇵 アラビカコーヒーノキ

🇨🇵 1990年5月の南北イエメンの統合時に両国の国旗を基に制定。3色は、旧アラブ連合(1958年にエジプトとシリアが連合して作られた国家)の旗に由来する。

🏛️🇨🇵 シバームの旧城壁都市(1982)、サマア旧市街(1986)、古都ザビード(1993) 🇨🇵 ソコトラ諸島(2008)



イスラエル国
State of Israel

面積/人口	22.1千km ² /888万人	GNI	3629億ドル
首都/首都人口	エルサレム*/90.1万人 ⁽¹⁷⁾	通貨単位	新シケル
人口密度	402人/km ²	IOCコード	ISR
言語	🇨🇵 ヘブライ語 、🇨🇵 アラビア語 、英語		
宗教	ユダヤ教76.3%、イスラーム17.7%		
民族	ユダヤ人76.2%、アラブ人ほか23.8%		
独立年	🇨🇵 1948.5 / 🇺🇳 1949.5	旧宗主国/政体	イギリス/共和国
主加盟機関	OECD	国花/国技等	🇨🇵 シクラメン 🇨🇵 オリーブ

🇨🇵 1948年10月28日建国時に国旗として制定。中央の星はダビデの星で、ユダヤ人のシンボル。ダビデは旧約聖書の統一イスラエル王朝の初代国王。上下の青はユダヤ教の高僧のタリトという肩かけを表す。

🏛️🇨🇵 マサダ(2001)、アッコ旧市街(2001)、テルアヴィヴのホワイト・シティー近代化運動(2003)、香料の道-ネゲヴ砂漠都市群(2005)、聖書時代の遺丘群-メギッド、ハツォール、ペエル・シェバ(2005)、ヘーフア及び西ガリラヤ地方のパハイ聖地群(2008)、人類の進化を示すカルメル山の遺跡:ナハル・メアロット/ワディ・エルムガーラ渓谷の洞窟群(2012)、洞窟の地の小宇宙としてのユダヤ低地のマレジャとベト・グヴリンの洞窟群(2014)、エルサレムの旧市街とその城壁群(1981)(ヨルダン・ハシェミット王国による申請遺産)、ベト・シェアルムの墓地遺跡:ユダヤ再興を示すランドマーク(2015)

*わが国は国家承認はしているが、首都エルサレムを承認していないため、在イスラエル日本大使館はテルアヴィヴに置いている。他の多くの国も大使館や領事館をテルアヴィヴに置くが、アメリカのトランプ政権はエルサレムを首都として認め、大使館を移した(2018年5月)。



イラク共和国
Republic of Iraq

面積/人口	435.1千km ² /3784万人	GNI	1935億ドル
首都/首都人口	バグダッド/615.2万人 ⁽¹¹⁾	通貨単位	イラク・ディナール
人口密度	87人/km ²	IOCコード	IRQ
言語	🇨🇵 アラビア語 、🇨🇵 クルド語 、トルクメン語、シリア語		
宗教	イスラーム96%、キリスト教3.2%		
民族	アラブ人64.7%、クルド人23%、アゼルバイジャン系5.6%		
独立年	🇨🇵 - / 🇺🇳 1945.12	旧宗主国/政体	イギリス/共和国
主加盟機関	LAS, OAPC, OPEC	国花/国技等	🇨🇵 赤いバラ 🇨🇵 イフシャコ

🇨🇵 2008年に国旗法の改正で制定。汎アラブ色の国旗で、中央に「神は偉大なり」とクーフィー体(字体)のアラビア語で書かれている。1991年までは緑の星3つが描かれ、神は偉大なりの文字は当時のサダム・フセイン大統領の直筆文字だった。

🏛️🇨🇵 ハトラ(1985)、アッシュール(カラット・シェルカット)(2003)、都市遺跡サーマッラー(2007)、アルビール城塞(2014)、バビロン(2019) 🇨🇵 南イラクのアフール:生物の避難所と古代メソポタミア都市景観の残影(2016)

汎アラブ色: 汎アラブ色はアラブ諸国の国旗によく使われる赤、黒、白、緑を基調とする配色です。それぞれの色には歴代のイスラム王朝や指導者を表すとされます。黒は予言者ムハンマドの時代、白はウマイヤ朝のバドルの戦いのシンボル、緑はファーティマ朝の時代、アリ・イブン・アビー=ターリブへの支持を示す色、赤はオスマン王朝の時代、ハワーリジュ派の色といわれます(諸説あります)。また、各国はそれらの色に独自の解釈を加えています。